

2020年4月24日

各位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー
 インヴィンシブル投資法人
 代表者名 執行役員 福田直樹
 (コード番号: 8963)

資産運用会社名
 コンソナント・インベストメント・マネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役社長 福田直樹
 問合せ先 企画部長 粉生潤
 (TEL 03-5411-2731)

ポर्टフォリオの運用実績(2020年3月)に関するお知らせ

インヴィンシブル投資法人(以下「本投資法人」といいます。)の当月(2020年3月)のポर्टフォリオの運用実績につき、下記のとおりお知らせします。

記

1. ポートフォリオ運用実績

ポर्टフォリオ(注1)合計の当月のNOI(注2)は前年同月比-55.8%、2020年6月期累計(2020年1月から2020年3月)のNOIは前年同期比-31.7%となりました。
 各セグメント別の状況は以下のとおりです。

2. ホテル

(1) 国内ホテル

国内ホテルポर्टフォリオ(75物件ベース)(注3)の当月の運用実績は、客室稼働率は前年同月比-44.5ポイント、ADRは同-34.9%、RevPARは同-67.7%となりました。また、当月のNOIは前年同月比-59.8%となり、2020年6月期累計のNOI(注2)は、前年同期比-40.7%となりました。当月は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的な流行拡大に伴う訪日外客数の大幅な減少(日本政府観光局推計値:前年同月比93.0%減)、出張、旅行、会議、スポーツイベント及び宴会等の全面的な自粛の影響により、ホテル需要は大幅に低下しました。

このような大幅な需要の低下を受け、本投資法人の主なホテルオペレーターである株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメントは、臨時閉館を含む営業形態の見直しや不急の工事案件の延期等により、ホテル運営費用の徹底的な削減に努めています。また、帰国者の自己隔離ニーズや在宅勤務が困難な企業・個人の日中利用ニーズの取り込み等を通じて、ホテル運営収益の向上にも鋭意取り組んでいます。

なお、新型コロナウイルス感染症に伴うホテルの需要低下は、政府による「緊急事態宣言」対象地域の全国拡大等を背景に当面の間継続するものと考えられ、本日現在、2020年4月の国内ホテルポर्टフォリオ(75物件ベース)(注3)のRevPARは前年同月比-80%程度になることを見込んでいます。

国内ホテルポर्टフォリオの地域別の実績については、下表のとおりです。

国内ホテル75物件(注3)

地域	客室稼働率(注4)	ADR(円)(注5)	RevPAR(円)(注6)
東京23区	52.8%	5,714	3,015
首都圏(東京23区除く)	41.7%	5,980	2,495
中部	50.0%	6,392	3,197
関西	33.5%	5,331	1,783

九州	61.4%	6,985	4,287
北海道	16.7%	6,430	1,075
その他	50.1%	11,771	5,896
合計	43.8%	6,539	2,864

(2) 海外ホテル

海外ホテルについては、「ウェスティン・グランドケイマン・セブンマイルビーチ・リゾート&スパ」及び「サンシャイン・スイーツ・リゾート」のケイマン2物件の当月の客室稼働率は前年同月比-49.0ポイント、RevPARは同-51.9%となりましたが、ADRは同1.0%増加しました。2020年6月期累計（2020年1月から2020年3月）では客室稼働率は前年同期比16.5ポイント、RevPARは同16.9%減少しましたが、ADRは同1.4%増加しています。当月のNOIは前年同月比-70.6%となり、2020年6月期累計のNOI（注2）は、前年同期比23.7%の減少となりました。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、ケイマン諸島政府は2020年3月23日からグランドケイマン島のオーウェンロバーツ国際空港を閉鎖しており、これにあわせてケイマン2物件も3月下旬より閉鎖しています。なお、当初4月12日までの3週間とされていた空港の閉鎖期間は、その後5月31日まで延長されており、ケイマン2物件も当面の間は閉鎖を継続する予定です。

3. 住居

住居ポートフォリオ（注7）の運用実績については、稼働率は当月末97.0%と前年同月末比+0.1ポイントとなりました。継続的に実施している賃料上昇に向けた取組みにより、当月末の平均賃料坪単価は、前年同月末比+1.2%となりました。また、当月のNOI（注8）は前年同月比+6.2%となり、2020年6月期累計のNOIは、前年同期比+4.0%となりました。

2020年6月期における新規契約賃料は従前賃料比で0.8%、更新契約賃料は従前賃料比で1.8%、それぞれ上昇し、新規契約・更新契約合計の賃料は、従前賃料比で1.4%上昇しました。また、更新契約における賃料上昇契約の割合は、2020年6月期においては51.3%となり、同期間で更新期日を迎えた既存テナントの更新割合は83.4%と引き続き高水準で推移しています。

4. 運用実績

(1) 国内ホテル75物件（注3）

	当月	前年同月	増減	増減率	当期累計	前年同期累計	増減	増減率
客室稼働率（注4）	43.8%	88.3%	-44.5pt	-50.4%	66.6%	86.0%	-19.4pt	-22.6%
ADR（円）（注5）	6,539	10,044	-3,505	-34.9%	8,021	9,637	-1,616	-16.8%
RevPAR（円）（注6）	2,864	8,869	-6,006	-67.7%	5,342	8,288	-2,946	-35.5%
売上高（百万円）（注9）	1,978	6,047	-4,068	-67.3%	10,769	16,009	-5,240	-32.7%

(2) ケイマン2物件

	当月	前年同月	増減	増減率	当期累計	前年同期累計	増減	増減率
客室稼働率（注4）	44.6%	93.6%	-49.0pt	-52.4%	75.1%	91.6%	-16.5pt	-18.0%
ADR（米ドル）（注5）	482	478	+5	+1.0%	487	481	+7	+1.4%
RevPAR（米ドル）（注6）	215	447	-232	-51.9%	366	440	-74	-16.9%
売上高（千米ドル）	5,633	11,039	-5,406	-49.0%	26,514	31,121	-4,606	-14.8%

(3) 住居 60 物件 (注7)

	当月末	前年 同月末	増減	増減率	当期累計	前年同期 累計	増減	増減率
稼働率	97.0%	96.9%	+0.1pt	+0.1%	96.6%	96.2%	+0.4pt	+0.4%
平均賃料坪単価 (円)	9,073	8,970	+103	+1.2%	9,067	9,003	+64	+0.7%

5. ポートフォリオNOI

	2019年平準化NOI (注10)		NOI (百万円) (注1)(注2)					
	(百万円)	比率	当月	前年同月	増減率	当期累計	前年同期 累計	増減率
東京23区	5,980	19.4%	245	611	-59.8%	829	1,389	-40.3%
首都圏 (東京23区除く)	4,094	13.3%	289	444	-35.0%	896	1,077	-16.8%
首都圏 (小計)	10,075	32.7%	534	1,055	-49.3%	1,726	2,467	-30.0%
中部	2,791	9.1%	103	247	-58.2%	282	471	-40.2%
関西	1,775	5.8%	67	213	-68.3%	208	429	-51.4%
九州	2,315	7.5%	89	255	-64.9%	266	547	-51.4%
北海道	3,442	11.2%	47	154	-69.1%	368	698	-47.2%
その他	2,700	8.8%	45	283	-84.1%	81	331	-75.5%
国内ホテル (小計)	23,100	75.0%	888	2,209	-59.8%	2,933	4,946	-40.7%
住居	3,281	10.6%	280	263	+6.2%	831	800	+4.0%
商業施設	368	1.2%	30	30	-1.5%	90	91	-1.0%
国内資産 (小計)	26,750	86.8%	1,198	2,504	-52.1%	3,856	5,838	-34.0%
海外ホテル	4,070	13.2%	180	612	-70.6%	1,266	1,658	-23.7%
合計	30,820	100.0%	1,378	3,116	-55.8%	5,122	7,496	-31.7%

(注1) 本投資法人が2020年3月末時点で保有する物件のデータに基づいています。但し、国内ホテルに固定賃料9物件は含みません。固定賃料9物件は、「D29 スーパーホテル新橋・鳥森口」、「D33 コンフォートホテル富山駅前」、「D36 スーパーホテル東京・JR立川北口」、「D37 スーパーホテルJR上野入谷口」、「D39 コンフォートホテル黒崎」、「D40 コンフォートホテル前橋」、「D41 コンフォートホテル燕三条」、「D42 コンフォートホテル北見」及び「D48 高松 東急REI ホテル」となります。なお、NOIには、「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」を裏付資産とするキングダム特定目的会社(以下「本TMK」といいます。)の優先出資証券からの想定配当額を含めています。但し、本TMKの事業年度は、毎年4月1日から9月30日まで及び10月1日から翌年3月31日までであり、本投資法人は各事業年度終了後3か月以内に優先出資証券に係る配当金を受領することになっており本TMKから月次で配当を受領するわけではないため、各月に係る想定配当額は、裏付資産である「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」の各月の3か月前にあたる月の業績をベースに、当該3か月前の月の本TMK自体の運営管理、借入利息の各種費用の想定額(当該3か月前の月が属する事業年度における本TMKの予算を月次換算した金額)を差し引いて算出した想定配当額に、本投資法人の優先出資証券保有割合に相当する49.0%を乗じて算出した参考値です。なお、海外資産に係る収入は1米ドル=110円(2020年12月31日までの期間、想定ネットキャッシュフローの85%程度の額を対象に為替オプション取引で固定化している為替レート)で円換算しています。また、NOIは速報値であり、決算確定時に変動する可能性があります。以下同じです。

(注2) 本投資法人による取得前のNOIについては、当該物件の売主等から受領した情報に基づいています。なお、会計上の取扱いの差異に基づく調整など算出時期によっては把握困難な場合があるため、当該調整に伴い実績値に差異が生じる場合があります。以下同じです。

(注3) 本投資法人が2020年3月末時点で保有する国内ホテル84物件(本投資法人が保有する特定目的会社の優先出資証券の裏付資産である「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」を含みます。)から固定賃料9物件を除いた75物件のデータに基づき記載しています。なお、「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」については、NOIについては前記のとおり、優先出資証券に係る配当受領が各事業年度終了後3か月遅れることから、各月の3か月前にあたる月

の想定数値に基づいていますが、その他の各指標との関係では、ホテル業績の季節性等を適切に反映するため、「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」の当月のデータに基づき記載しています。以下同じです。

- (注4) 「客室稼働率」は、次の計算式により算出しています。
客室稼働率=対象期間中に稼働した延べ客室数÷対象期間中の総客室数(客室数×日数)
- (注5) 「ADR」とは、平均客室単価(Average Daily Rate)をいい、一定期間の客室収入合計(サービス料を除きます。)を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- (注6) 「RevPAR」とは1日当たり総客室数当たり客室収入(Revenues Per Available Room)をいい、一定期間の客室収入合計を同期間の総客室数(客室数×日数)合計で除して算出され、客室稼働率をADRで乗じた値と同値となります。
- (注7) 本投資法人が2020年3月末時点で保有する住居60物件のデータに基づき記載しています。
- (注8) 住居のNOIは一時的な保険金収入及びそれに対応する費用を除いています。
- (注9) 「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル」の売上高については、本投資法人の優先出資証券保有割合(49.0%)に抛らず当該ホテルの売上高を用いています。
- (注10) 2020年3月末時点において本投資法人が保有する全ての物件(148物件)について、2019年6月期の期初から保有していたと仮定した2019年通年のNOI想定値に基づき算出しています。シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルに係る特定目的会社優先出資証券にかかる配当収入については、2019年6月期及び2019年12月期に通り寄与した場合の想定値をNOIに含めています。なお、本投資法人による取得前の実績値は、それぞれの売主から提供を受けた実績値を基に算出していますが、本開示時点において、上記注2に記載の調整を行ったため、前月に開示した当該想定値より変更が生じております。また、海外資産に係る収入は1米ドル=110円(2020年12月31日までの期間、想定ネットキャッシュフローの85%程度の額を対象に為替オプション取引で固定化している為替レート)で円換算しています。
- (注11) 客室稼働率、稼働率及び増減率は小数点以下第2位を四捨五入、ADR、RevPAR及び平均賃料坪単価は単位未満を四捨五入、売上高は単位未満を切り捨てて記載しています。
- (注12) 累計の稼働率は、対象期間における各月末時点の賃貸面積合計を賃貸可能面積合計で除して算出し、小数点以下第2位を四捨五入して記載しており、累計の平均賃料坪単価は、対象期間における各月の賃料収入(共益費収入を含みます。)合計を各月末時点の賃貸面積合計(坪)で除して算出しています。
- (注13) 各ホテルの個別の運用実績につきましては、以下をご参照ください。
<https://www.invincible-inv.co.jp/portfolio/hotel.html>

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<https://www.invincible-inv.co.jp/>